

分も

心靈登山

から35年を迎えた12
から墜落現場となつた
は新型コロナウイル
数ほどだつた。墜落
で、安全を願う鐘の

の前でも、静かに祈つた。
兄の栗原崇志さん(33)一
家を失つた栃木県大田原市
の橋本毅さん(66)はマスク
を着け、愛犬と登山。兄に
「機内で食べてね」とミニ
ンを渡したことが忘れら
ず、毎年墓前に供える。正
界した両親の分まで墓参
を続けたい」と話した。

安全を祈る場となつた原
根には、例年他の事故や
害の遺族も登山する。20
11年の東日本大震災で亡
くした宮城県名取市の豆
野祐子さん(51)は3人姉妹
の墓標に、小さな人形三つ
を供えた。数年前に姉妹の
両親と約束していたとい
い。「わが子を思う気持ちは同
じ。その上で遺族同士で分
かり合えるものがある」と
涙ぐんだ。

例年墜落時間の午後6時
56分に合わせて籠の「慰靈
の園」で開かれる追悼式は
限られた人数の関係者が問
隔を空けて見守る形となつ
た。薄暗くなる中、村の職
員は、新発田市長徳寺の墓
前での法要の様

「同じ520本のろうそく
に点火。祈りの輪が広がつ
た。一方、娘3人を亡くした
兵庫県西宮市の田淵親吾さ
ん(91)と妻輝子さん(86)は

が、今年はかなわず、自宅
で現地に行けない遺族の
ためのインターネット中継
で追悼式を見た。親吾さん
は「久しぶりに現地を見て
感無量です」と話した。

墓前での様子をオンライン配
信した長徳寺のお盆法要=12
日、新発田市

参拝環境を整えた。
長徳寺では永代墓の法要
を毎年8月12日の午前と午
後に行い、例年80人ほどが
訪れている。今年は約40人
が参列し、約30人がオンライン
参拝をした。

住職が読経する様子などを
専用のスマートフォンで
撮影。オンライン参拝者は
スマートフォンなどを通じ
て参加した。読経後は家族
連れらが祭壇前で焼香、合
掌すると、その様子も映像
で配信された。

12日午後11時すぎ、長岡
山宮関2の路上で「子ども
のイノシシ1頭を目撃し
た」と、車で通行中の運転
手から110番通報があつ
た。長岡署によると、イノ
シシは体長30~40センチ、道路
の側溝に入つていつたと
いう。親イノシシは目撃さ
ていないが、同署は周辺
パトロールし警戒する。
場は長岡造形大北側の住
街。

お盆法要 オンラインで

新発田・長徳寺 墓参り新様式に



新型
ウイルス

墓参りでの新型コロナウ
イルス感染リスクを軽減し
よう、新発田市の長徳寺
は12日、墓前での法要の様

子をオンラインで配信する
お盆法を行つた。約30人
が中継映像を通じ、故人や
祖先をしのんだ。

帰省を自粛し墓参りを控
えるケースを見込んで、新
潟市のシステム開発会社と
協力してオンライン配信の
い」と話した。

住職の関根正隆さん(43)
は「『密』をある程度軽減
できた。今後の反響を見て、
選択肢の一つとして考へた
い」と話した。

動物の適正な飼育方法を
話し合う環境省の検討会が
12日開かれ、繁殖業者やベ
ットショップなどの販売業
者に対し、飼育数や犬猫の
交配可能年齢などを規制す
る同省の数値基準案を了承
した。繁殖業者では1人当
たりの繁殖犬の飼育数は15
匹、猫は25匹までとし、販
業者は1人当たり犬20
匹、猫30匹を上限とする。
父配は犬猫とも原則6歳ま
に制限した。

長岡の住宅地で イノシシを目撲

日本の
新潟から
げんきを

「日本のげんきを

新型ウイルス感染症の影響による困難な状況が続き、社会、経済、人々の行動や価値観。この状況を乗り越え、新しい時代を創る挑戦を新潟から。新潟日報LEADERS俱楽部

「巣鷹の尾根」で鐘を鳴ら
族の美谷島邦子さん(12)
群馬県上野村